

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り



Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL.190

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム（鹿児島県国際交流員 トウ・レイカ）](#)

ニーハオ！ こんにちは！

[2 知事の動き](#)

- 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使が訪問されました(6月12日)
- 駐日インド大使が訪問されました(6月19日)

[3 かごしまの出来事](#)

- 国内で初めてインドへコンテナ単位で焼酎(だいやめ)輸出開始(6月1日)

[4 観光かごしまのイベント情報](#)

加治木くも合戦大会(6月16日)  
第91回山川みなと祭り(6月1日～2日)

## 国際交流員のコラム

### ● ニーハオ！こんにちは！ ●

—鹿児島県国際交流員 トウ・レイカ（中国出身）—

今年の4月から県庁国際交流課で勤務し始めた、国際交流員の鄧麗霞と申します。中国江蘇省常州市の出身で、中国では、南京農業大学に勤めています。以前、留学で神戸や京都に住んだことがありますが、鹿児島を訪れるのははじめてです。JETプログラムを申請する時から、鹿児島の歴史的な遺跡や名物・特産を調べ、試験に合格してからは、一刻も早く鹿児島に赴任したいと思いました。鹿児島空港に着いた時から、シュロの木を街路樹とし、山を背に海に臨む鹿児島の南国風景に惹かれました。

赴任してからは、指宿への出張の際に、JR 日本最南端の西大山駅を案内してもらいました。ほぼ同緯度にある上海と江蘇省が海のすぐ向こう側にあることを知って、鹿児島に対する親近感を一層抱きました。

鹿児島の海や火山など雄大な自然を見ると共に、地震や火山の噴火、豪雨を経験して、人間が宇宙のほん小さな存在であることを実感しながら、海の向こう側の世界を知りたいと願い、海を越えたコミュニケーションをしようとする人を尊敬しています。

鹿児島での日々は、中国ではキャッシュレスの毎日を過ごしてきましたが、県庁では、お昼ご飯の注文を現金で支払う必要があるため仕事が始まる前に、お弁当を注文する小銭を持っているかどうかの確認を行うのが日課となりました。実際に現金を支払うことで、お金を大切に使いたいという金銭観念、そしてそれに伴い仕事を頑張りたいという意志が強くなっています。

仕事では主に中国語にかかわる翻訳や通訳、講座や交流のような業務を行っています。最初は多数存在する厳しいルールに慣れなかったため、緊張したりしてストレスがたまりました。でも、ルールがあったからこそ、仕事は予定通りに進行していることがわかると共に、ルールの下仕事を行うことにも、慣れ、安心できるようになりました。仕事が順調にできた時は、一日の最高の時間だと思いました。

鹿児島での滞在は、あっという間で3ヶ月過ぎました。「すめば、みやこ」という諺のように、親切なみなさんのおかげで、生活も仕事にも早く慣れるようになり、特別ではない何気ない日々も最近は楽しんでいきます。これからも、いろいろ学びながら、頑張ります。よろしくお願ひ致します。



中国での勤め先である、南京農業大学の教学楼



中国上海とほぼ同緯度の西大山



指宿市にあるフラワーパークかごしま

## 知事の動き

### ● 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使が訪問されました（6月12日） ●

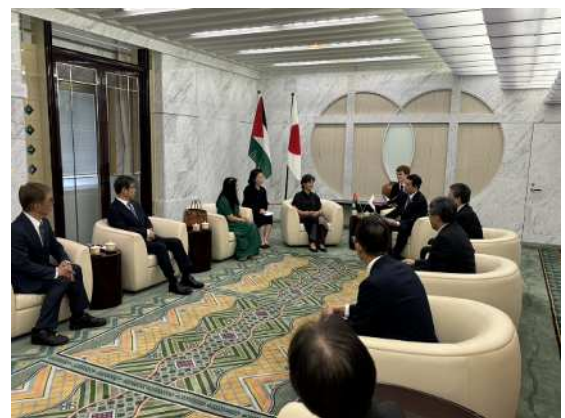
駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使が県庁を表敬訪問されました。

大使からは、来年、ヨルダンの乳腺科医師が相良病院（鹿児島市）で研修を受けることや、日本とヨルダンとの外交関係樹立70周年を契機とした人的交流への期待などのお話がありました。

塩田知事からは、鹿児島の魅力が、世界自然遺産の豊かな自然や、鹿児島和牛・お茶などの多彩な食であることをご紹介し、今後の相互交流を期待していることをお伝えしました。



● 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使御一行様との集合写真



● 表敬の様子

●駐日インド大使が訪問されました（6月19日）●

インドのシビ・ジョージ駐日インド大使が県庁を表敬訪問されました。

ジョージ大使からは、人口世界一位、経済成長率8%を誇るインドは大きな成長・変革の中にあり、経済・人材の分野においてこの機会をチャンスと捉えてインドに関心を持っていただきたい旨、お話がありました。

塩田知事からは、今回の訪問がインドと鹿児島との関係を強化するきっかけとなれば幸いとお話しました。



●シビ・ジョージ駐日インド大使と



●表敬の様子

## かごしまの出来事

●国内で初めてインドへコンテナ単位で焼酎（だいやめ）輸出開始（6月1日）●

濱田酒造（鹿児島県いちき串木野市）は、香り系焼酎「だいやめ」など、約1万300本（1,716ケース）を、インドへ出荷しました。

焼酎をインドへコンテナ単位で輸出するのは、国内初です。

## 観光かごしまの旬の情報

●加治木くも合戦（6月16日）●

400年以上もつづく「加治木くも合戦大会」が6月16日（日）に開催されました。

大会は、「優良ぐもの部」，「合戦の部」，「王将戦の部」の3つの部門で構成されております。

国内だけでなく、海外からも取材を受けるなど広く注目を集めており、毎年200人近くの参加者が会場に集います。



「写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟」,

●第91回山川みなと祭り（6月1日～2日）●

全国有数の水揚げ高をほこる山川漁港の航海の安全と大漁を祈願するお祭りが開催されました。

初日である6月1日（土）には、花火大会が行われ、山川漁港の夜空を彩りました。

2日目には、船団や街頭パレード、舞台演芸会、活魚のつかみ取りなどが行われました。



「写真協力:鹿児島県南薩地域振興局」

